

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」高松伏石校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	1	0	利用者同士の距離が近く、コミュニケーションを取ることは容易ではあるが、周りの声や音に気を取られてしまう児童の場合にとっては厳しい環境と感ずるので、しっかりとしたパーティションがあると良い。予定表を保護者に開示し、利用できる時間を確認できるようにしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	0	2	1	現時点では不足していると感じないが、指導員の育成をできるような余裕がない。しかし、今後児童が増えた際にはこの通りではない。児発管との関係でもう1名必要と思われる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	0	0	利用者向けの空間と指導員の控室に仕切りがない。個室やパーテーションで区切ることによって安心して集中できる環境を整えている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	0	0	具体的な目標設定に伴う評価方法が新たに始まったためそう言える。毎日の YWT で振り返りや課題を考えている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	0	0	定期的に保護者に向けて評価表を配布してアンケートを依頼・回収している。HP 上で公開している
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	0	0	事業所向け自己評価表及び保護者向けの評価表をもとに支援の質や業務改善に努めており、具体的な内容を公表できている。HP 上で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	3	第三者機関等への評価依頼を実施していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	1	0	発達支援研究所の研修など定期的に研修に参加している。階層別の研修を実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	0	0	指導員や保護者のニーズ、児童の課題を常に客観視して支援計画の作成を行うことができている。保護者に対し丁寧な聞き取りを心掛けている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	0	0	定期的に標準化されたアセスメントツールを活用してアセスメントを実施している。診断書を分析している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	1	0	チームとして各々が立案し、活動プログラムを考えている。主と副の担当を定め、プログラムを立案し、相談しながらプログラムを作成している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	0	0	迷った時には話し合える環境ではある。以前の記録を読み取り、現在の状況に適したプログラムの立案を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	1	0	個別支援のため平日と休日で大きく支援内容を変えていないが、利用者の体調や感情

					面を見て課題を臨機応変に変化させることはしている。主と副の担当を定め、プログラムを立案し、相談しながらプログラムを作成している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	1	1	適宜イベントなどを行い、集団活動を組み合わせることができている。 基本的に個別支援のため、個別支援用に支援計画を作っているが小集団支援の際の目標を入れることも検討の余地がある。 イベント等を通して集団活動の機会を作り、保護者に参加を促している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	0	0	朝礼を行い、当日の支援について話し合える環境を整えることができている。担当指導員の確認が行うことができている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	0	3	0	支援後に話し合える時間がある場合には適宜職員間で話し合いを行うことがある。必ずではないが、必要に応じて情報を共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	0	0	日常的に支援の記録を取り、支援内容の記録や検証・改善に努めることができている。支援内容と子どもの様子の記録をクラウド上で共有できるようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	0	0	定期的なモニタリングが実施されていて、計画の見直しを行うことができている。担当者会議を行い、見直している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	2	1	0	ガイドラインを校舎内で共有できていない事項もあるかと思うので、この機会に校舎内で共有する。ガイドラインを遵守している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	0	0	普段より支援を行う担当指導員が原則的に参画しているが、やむを得ない場合は支援内容のモニタリング内容を引き継いだ管理者により、その子どもの状況を詳細に伝えることができている。 基本的には管理者+担当指導員の形で参加している。管理者のみの参加も多いので担当指導員の参加もできるようにしていく。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	0	0	万が一イレギュラーな対応が必要になった場合は情報共有をすることが可能である。 どちらかというと保護者を介して行っていることが多い。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	3	0	直近で実施した事例がないためどちらともいえない。 過去に該当児がいた。その際には個別に緊急連絡網を作成して緊急時に対応できるようにしていた。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	2	1	就学時の事業所との情報共有はできていない。今年度は年長の利用者様も多いので積極的に行っていききたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1	0	直近で実施した事例がないためどちらともいえない。 管理者が進路に関する担当者会議に参加して進路に関しての意見を述べたり助言を行ったり当事業所の支援内容を共有したことがある。

連携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	0	0	定期的なモニタリングを行い、他の事業所での研修を受けている。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	1	直近で実施した事例がないためどちらともいえない。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	0	2	1	直近で実施した事例がないためどちらともいえない。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	0	0	支援が行われた後にフィードバックを行い支援内容や今後の課題について共通理解を持つことができています。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	1	日常的なフィードバックの中で可能な限り助言を行うが、特別な場を用意していることはない。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	1	0	契約時に必要な説明を行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	0	0	フィードバックと同時に保護者からの悩みなどがあれば相談や助言、支援を行う。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	1	他校舎とも連携して様々な意見交換を行うことができています。 保護者との交流の会の場を設定したが、1名の参加しかなく、あまりニーズがなかった。 保護者カフェを企画し、当事者同士の悩みごとの共有や子どもへのかかわり方を支援しているが、回数は少ない。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	0	0	管理者を苦情の窓口にしており、契約時にも説明している。苦情があった際には丁寧に対応するようにしている。 毎回の支援内容をフィードバックして、現在の子どもの様子や困りごとを聞き取り、次回の支援に生かすようにしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	0	0	不定期ではあるが紙媒体の通信を作成している。活動概要や行事予定等の情報はSNSやメールを発信している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	3	0	0	日頃より個人情報の含まれるフォルダは鍵付き書庫で保管されている。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	0	0	発達の特性に応じた対応をしている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	2	1	招待はしていないが、イベント等は地域住民等が参加できる内容を行っている。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	0	0	緊急時対応や防犯、感染症について月1回の訓練を行っている。緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染マニュアルは作成しており、定期的に必要な更新は加えている。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	0	0	利用者様を含めた防犯訓練が実施できていないので、早急の実施していく。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	0	0	定期的に虐待防止委員会にて検討会行われている。

					管理者が虐待防止委員会のメンバーとなり虐待防止委員会に参加し、校舎内で検討内容を共有している。
④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	0	0	事前の同意を含め支援計画にも記載されている。契約時に説明しており、身体拘束を行った場合は記録を取る決まりになっている。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	1	1	食事提供がないため該当なし。食品を提供する際、成分を確認し、参加児の保護者に確認をしている。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	0	0	各校舎の指導員により集まったヒヤリハットを社内で共有できている。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」高松伏石校 保護者等数（児童数）：38 名 回収数：33 名 割合：87%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	11	1	狭いと感じます。 もう少しスペースがあれば活動の幅も広がるのではないかと思います。 同じ時間帯に子供が多いと、スペースが狭い夕方の利用人数が多い時に何人かが運動や遊んでいる時はわちゃわちゃしてもう少し広いスペースがあったら落ち着けると思います。 全体的に少し狭く感じる →校舎の大きさの関係上、狭いと感じる構造で申し訳ございません。机の配置などを考えながら最大限活動のスペースが確保できるように努力してまいります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	26	7	0	子供の状態を判断して課題等を提案していただけるのが非常にありがたい。 →今後もお客様の特性やその日の気分などを考慮しながら支援させていただきます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	18	4	よくわからない →バリアフリー化は事業所としてもできていないと感じております。手すり等必要があれば設置の検討してまいります。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	29	4	0	
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	27	6	0	楽しく学べるように工夫してくださっていると思います。 →ありがとうございます。楽しんで学べるように引き続き研鑽してまいります。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	19	11	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	1	0	学校、家での様子なども聞いてくださってアドバイスしてくれています。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	29	4	0	そういう場面がないので。 今までに苦情等はありません。 苦情を聞いたことないし、苦情を言ったこともないので分からない。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	6	0	前にいただいた新聞が良かった。紙媒体でなくていいので。 →職員間で何の新聞のことを指しているのか考えましたが分かりませんでした。管理者よりイベントの報告書のようなもの（きらりだより）を作成して校舎内に掲示することはさせていたでいております。最近では作成できていない時も多かったのですが、今後作成してまいります。

	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	18	10	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	14	0	活動スペースが狭く、個室もないので無断で学習スペースに入ってきたりする利用者もあり、十分注意しているとは言えない。 →事業所の奥に半個室の面談室もございますので、そこを利用するなどの対応策は考えられるかと思えます。なるべく他の利用者様のブースに入らないように声掛け等は行いますが、利用者様の特性を考えるとゼロにすることは現実的に不可能に近いと思えますのでご了承ください。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31	2	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	24	9	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	27	5	1	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21	12	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	18	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	27	6	0	とても楽しみにしています。先生によって気分が違う →ありがとうございます。どの指導員の支援でも楽しんでもらえるように努力してまいります。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	27	5	1	新しく担当になった先生の知識の多さと、対応に感服してます。専門性を感じます。先生が変わりまだ分かりかねるこれからも通わせたいと思っております。60分全て子供の支援時間だとありがたいです。 →温かいお言葉ありがとうございます。60分すべて支援時間にすることは不可能ではありませんが、前後の利用者様の支援があるので要相談かと思えます。ご気軽にご相談ください。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。